



写真—18 鉄の組織と結び

写真上はスプライスプレートとサブットの接合部がよくに結びている。同一金属でも組成の異なる部分が接触すると腐食する例。

写真下は鉄物の接合部の結び、腐蝕のためにその組織が壊れたためにおきた電食。

以上は目立った例だが、要するに同じ鉄でも局部的にはすべて組成が違うので電解質の媒体がそこにあれば、当然腐蝕が起れて結びることになる。

サブットや接合のみならず、内部応力によって局部的に腐蝕が起っても急激に結びる。

写真—19 ベンキの塗り替え

日本人は「タタミと女房は——」でタタミの塗り替えは毎正月だとキドある毎に怠らないが、ベンキの塗り替えにはまったく無関心である。

この写真などは鉄物の錆びそのものである。

日建大工的に自宅の軒や式小間のベンキの塗りかえをする習慣がだんだんとわが国にも生れつつあるが、そのあたりから建築に対する精神革命が育ちそうであり、そうあることを望む。